

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第1回定例会議 審議概要

開催日 及び場所	令和6年6月26日(水) 高松サンポート合同庁舎 13階 災害対策室						
委員 (部会委員 5名)	部会長 委員 委員 委員 委員	梶谷 義雄 潮 秀隆 倉内 慎也 西中 美和 森川 さち子	(香川大学教授) (弁護士) (愛媛大学大学院准教授) (香川大学大学院教授) (公認会計士)	敬称略 委員は50音順			
審議 対象期間	令和5年10月1日 ~ 令和6年3月31日契約分						
審議案件	総件数 8件(工事 4件、建設コンサルタント業務等 3件、役務及び物品 1件)						
	入札方式	件 名		契約の相手方	契約金額 (千円)	入札 者数	落札率 (%)
工 事	一般競争 (政府調達協 定適用)	令和5-9年度 野村ダム施設改良ゲート設備工 事		豊国工業(株)	1,709,400	4	90.34
	一般競争 (政府調達協 定適用外)	令和5-6年度 山鳥坂ダム下嵯峨谷地区工事に 用道路工事		(株)森本	190,850	1	98.12
	一般競争 (政府調達協 定適用外)	令和5-6年度 豊中観音寺拡張本大地区舗装工 事		勝和建设(株)	113,300	3	95.36
	一般競争 (政府調達協 定適用外)	令和5-6年度 土佐管内道路照明設備(その1) 工事		日本電設工業 (株)	165,000	1	96.24
建設コン サルタン ト業務等	簡易公募型 競争入札	令和5-6年度 肱川地盤高測量業務		中日本航空 (株)	32,010	4	80.61
	簡易公募型 競争入札	令和5-6年度 杉王高架橋修正設計業務		国際興業(株)	19,822	8	79.59
	簡易公募型 プロポーザル	令和5-6年度 宇須々木川橋外橋梁予備設計業 務		(株)長大	47,135	5	100.00
役 務 及び物品	一般競争入 札	R5-9 国営讃岐まんのう公園運営維持 管理業務		R5-9 国営讃岐まんのう公園運営維 持管理業務まんのう公園マネ ジメント共同体	1,827,540	1	99.08
報告事項	① 指名停止等の運用状況 ② 談合情報等への対応状況 ③ 再度入札における一位不調状況 ④ 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ⑤ 一者応札の発生状況 ⑥ 不調・不落の発生状況 ⑦ 高落札率の発生状況(工事) ⑧ 四国地整及び事務所ごとの平均落札率						
委員からの意見質問、それに対する回答等				別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容				特になし			
備 考							

1. 抽出案件の審議概要

(1) 一般競争入札（政府調達協定適用）

意見・質問	回 答
令和5－9年度 野村ダム施設改良ゲート設備工事	
●落札業者について	
本社の位置・規模について	本社は広島。全国でダム用ゲートを施工されている会社である。
●工事費内訳について	
各社の工事費内訳をみると、一般管理費部分が官積算額よりかなり削られており、結果として入札価格が調査基準価格に近い額になっているが、これに関しどうお考えか。 特に一般管理費については、各企業が官積算額の60%～70%の価格で入札してきている。 この部分を頑張ることによって労働者の安全管理部分が損なわれていたりしないのかお聞かせ頂きたい。 一般管理費部分の削減が、実態としては他の部分に影響を与えているかもしれない。そのあたりは、今後も注視して頂ければと思う。	入札に関する、積算基準や歩掛かりについてはしっかりと公表等させて頂いていることから、各企業の予定価格についてはある程度掴めているものと思慮される。今回入札額が調査基準価格に近くなったのは競争力が高まったものと推測される。また、落札者に対しては、施工体制の確認を行い施工の確実性を担保している。 一般管理費等については、企業の運営資金的なところであり、この部分を削ったとしても直接工事に携わる労働者の安全管理がおろそかになったりするものではないと考える。 頂いた御意見を参考に、注視してまいりたい。

(2) 一般競争入札（政府調達協定適用外工事）

令和5－6年度 山鳥坂ダム下嵯峨谷地区工事用道路工事	
●入札参加者数について	
参加想定業者数が55社とあるが、こちらは入札参加資格が有る業者が55社あるということか。 55社の対象の中、1社しか入札がなかった理由をどのように分析されているのか。	そのとおり。 入札参加者が少ないという事に関しては、工事施工箇所が山間部にあり、かつ急峻な地形ということで施工ヤードが非常に狭い等、現場条件が厳しい。更には、肱川下流地域（大洲市等）では河川激甚災害対策特別緊急事業の最終年度であったことから、多くの工事が発注されていた。これらの影響があったものと考えている。

令和５－６年度 豊中観音寺拡張本大地区舗装工事	
●一括審査試行工事について	
一括審査試行工事においては、一つの申請書類で複数の工事の書類審査を受けられるという認識で良いか。（提出書類の簡素化） 本入札方式によると、入札参加業者は増えるのか。他の工事も含めそういった傾向が見られるのであれば、アピールしやすい入札方式だと思われる。	そのとおり。 一括審査方式を適用するには、近隣で同一時期に同一条件で工事が発注される場合に限られる。 本方式を取ることで、企業の入札参加意欲が高まるかということについては、因果関係が未だ整理できていないため、確定的なことは言えない状況である。 ただ、本方式を採用することにより、申請する企業及び審査する当方共に労力の削減ができるため、そういった事を目的に現在試行を行っているところである。
令和５－６年度 土佐管内道路照明設備（その１）工事	
●一者応札について	
電気設備工事は複数社が入札されることが多いが、今回一者応札となった理由についてどの様に考えていらっしゃるかお聞かせください。	今回の工事への入札をとりやめた企業にヒアリングすると、今回の工事は、一般道での規制を伴う工事であり、また工事延長も長く、一人の技術者では現場管理が難しいというふうに、現場条件が少し厳しかったということであった。この辺りは今後考慮してまいりたいと考えている。

（３）簡易公募型競争入札（建設コンサルタント業務等）

意見・質問	回 答
令和５－６年度 肱川地盤高測量業務	
●特になし	
令和５－６年度 杉王高架橋修正設計業務	
●入札金額について	
入札金額が全社同額になっているが、理由がわかれば教えて頂きたい	歩掛かり・積算基準が全て公表されており、これから推算し予定価格を割り出し、そこから調査基準価格を求めて、入札価格としたものと思われる。
●調査基準価格について	
今回調査基準価格と同額にて全社入札をされているが、企業側の判断としてその金額においても十分利益がでると思われるのか。	一般論になるが、調査基準価格は元請け・下請けの関係で下請け業者へ負荷がかからないように設けられている。今回のような設計業務に関しては、おそらく自社で完結する作業が多いのではないと思われる。さらに、業務の場合積算体系も工事に比べ複雑ではないため、安易に調査基準価格が類推しやすいこともあると思われる。 本件入札結果については、本省等にも共有し今後の積算体系のチェック等に繋げて参りたいと思います。

(4) 簡易公募型プロポーザル（建設コンサルタント業務等）

意見・質問	回 答
令和5－6年度 宇須々木川橋外橋梁予備設計業務	
●特になし	

(5) 一般競争入札（役務及び物品）

意見・質問	回 答
R 5－9 国営讃岐まんのう公園運営維持管理業務	
●1者入札について	
令和5年12月以前の管理も今回受注された共同事業体が契約しており、今回は契約の継続になるということか。 過去も一者入札となっているのか。 他者が参入するのにハードルが高くなったりしていないか。	契約の継続ではない。今回の契約は、まんのう公園開園以来4期目の契約になるが、その都度入札手続きを行って業者選定を行っている。 ちなみに、以前の3期分も今回と同じ共同企業体が受注されている。 1期目の入札の際には2社であった。 入札参加要件等もその都度緩和等を行い、工夫しているが、なかなか入札参加者が増えない。 1期から継続して同一共同企業体が管理を行っている現状を周りの業者も知っているの、そういった背景もあるのかもしれない。
●利用者の声の反映	
公園を利用されている方の声等については契約の中に反映されているのか。	業務目標を掲げて頂く中で、利用者様の満足度を確保するのにアンケートを定期的に行っている。このアンケート結果を踏まえながら、現行業務については、改善等が行われているものと考えている。 新たな契約に関しては、入札手続きの中でパブリックコメントを実施し、広く意見を募っており、その中に利用者の意見もあった。ただ全ての意見を盛り込んでいくのは非常に困難なので、他の国営公園含めて本省の方で皆さんの声をどう反映していくのか一括議論され、整理した上で本業務の基が出来上がっている。
●分割発注について	
本件については、契約金額が大きく、1者入札、落札率も高く非常に目立つ。分割発注等は考えられなかったのか（植物管理業務を分ける等）	過去にもそういった御意見、考え方はあった。ただ、大規模公園の中で多岐にわたる運営を行っていないといけないところが根底にある中で、一括発注が効率的・効果的にサービスを提供できるという視点で今まで行っている。 入札関係書類の公表とあわせ、積算参考資料の公表等も行い、多くの業者の方に入札参加頂けるよう工夫を行っているところである。

2. 指名停止等の運用状況

意見・質問	回 答
特になし	

3. 談合情報等への対応状況

意見・質問	回 答
特になし	

4. 再度入札における一位不調状況（「価格が最低である入札参加者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況）

意見・質問	回 答
特になし	

5. 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況

意見・質問	回 答
特になし	

6. 一者応札の発生状況、入札者及び技術（企画）提案書提出者が1者の発生状況

意見・質問	回 答
一者応札がまた増えてきているが、能登半島地震の影響等は考えられるか。	一般論ではあるが、C等級クラスの工事の発注に際しては、地域要件が非常に重要になっており、四国地方で発注する工事であれば、四国内に本店等を有する企業を対象として工事発注がされている。これは能登地方も同じような状況かと思われるので、四国の企業が現地に出向き仕事をするというのはまれなケースだと思われる。 ただ、全国を対象に工事を行っているA等級の企業であれば、地域復興のため、被災地の工事を優先して行うこともあろうかと考えられる。

7. 不調・不落の発生状況

意見・質問	回 答
特になし	

8. 高落札率の発生状況（工事）

意見・質問	回 答
特になし	

9. 四国地整及び事務所ごとの平均落札率

意見・質問	回 答
特になし	

10. まとめ

今回審議した8件の個別案件について、大きな問題はなかったと認識している。

発注方式によって、こういったメリットが生まれているのかをデータ等を用い、わかりやすく伝えて頂けるとより説明しやすいと思われる。

全体の傾向として、一者応札が増えてきている。これは致し方ない部分もあると思うが、これからますます高齢化・人員不足等に拍車がかかってくるので、一層厳しい状況になるのではないかとされる。引き続き注視し、一般管理費の問題も含め、各委員から出された意見を参考にして頂きながら、運営にあたって頂きたい。